

平成27年度高齢者世帯等実態調査

アンケートのまとめ

久御山町社会福祉協議会
久御山町民生児童委員協議会

も く じ

1. 平成27年度高齢者世帯等実態調査について（実施要綱）	2
2. 高齢者世帯調査のまとめ	4
3. 高齢者の在宅介護者調査のまとめ	18
4. ひとり暮らしの高齢者世帯調査のまとめ	29

1. 平成 27 年度高齢者世帯等実態調査について (実施要綱)

【調査の目的】

少子高齢社会が進みつつある現在、私たちの暮らしに関する課題、特に福祉課題や生活課題といわれるものは複雑で多岐になっている。

また全国で頻発する地震や豪雨災害を目の当たりにし、地域住民の関係性、いわゆる「ネットワーク」や「絆」と呼ばれるものが大変重要といわれている。

そこで、久御山町内の居宅で居住されている福祉課題の当事者性をもつ高齢者等（高齢者世帯、高齢者の在宅介護者、ひとり暮らし高齢者）の居住実態を把握し、久御山町の地域福祉活動や災害時要配慮者対策の資料とするために調査を実施する。

【主催】

社会福祉法人 久御山町社会福祉協議会
久御山町民生児童委員協議会

【協力】

久御山町・町内福祉関係事業所

【調査の対象】

(1) 高齢者世帯

久御山町に在住し、「おおむね 65 歳以上の高齢者のみ」、または「おおむね 65 歳以上の高齢者と 18 歳以下の若年者のみ」で構成する複数世帯

(2) 高齢者の在宅介護者

久御山町に在住し、おおむね 65 歳以上の高齢者を 3 か月以上在宅で介護している方、または、介護保険での要介護認定が要介護 3 以上の方。また、高齢者世帯で在宅介護者でもある世帯に関しては対象が重複するため、両方記入をしていただくこととする。
※概ねベッド上での生活の方、また日中は車いすで座っていられる程度の方も含む

(3) ひとり暮らしの高齢者世帯

久御山町に在住し、おおむね 65 歳以上のひとり暮らしの高齢者。

※親族と同敷地内に居住しているものの、世帯分離している方も含む。

【調査担当者】

久御山町民生児童委員

【調査基準日】

平成27年10月15日（木）

【調査実施期間】

平成27年10月15日（木）～平成27年11月2日（月）

【調査の方法】

- (1) 調査対象世帯へ調査担当者が調査票（アンケート）一式を持参し、調査についての説明を行う。
- (2) 調査対象者が直接調査票へ記入していただく。なお心身の障害等により対象者による記入が難しい場合は、調査担当者が聞き取りの上で調査票への記入をしていただく。
- (3) 記入された調査票は同封の封筒に入れていただき、調査担当者が回収を行う。
- (4) 回収された調査票は名簿部分と調査票部分に分け、名簿部分は調査対象別名簿を作成する。また調査票は町内に居住する福祉課題をもつ高齢者及びその介護者の意向として集計を行う。

【その他、調査に係る留意点】

- (1) 調査の実施にあたり、調査票（アンケート）と調査対象別個人名簿は別に集計を行うため、別綴じとする。
- (2) 調査対象別個人名簿では、「性別」・「年齢」・「住所」・「電話番号」・「緊急連絡先」・「ADL等本人状況」などを把握する。
- (3) 地震や洪水などに被災した際に迅速な救助活動や支援活動を行うため、町内防災組織等において当該名簿を活用することの承諾をいただく。なお、平時における防災・減災にむけた活動への使用についても名簿活用の可否の判断をいただく。
- (4) 本調査において主催者である社会福祉協議会と久御山町民生児童委員協議会が調査対象者の個人情報（名簿等）を取得する必要性は本要綱案の「調査の目的」に集約されるものとし、両者がその認識を共有する。

2. 高齢者世帯調査のまとめ

【概況】

高齢者世帯は 397 世帯 807 人となっており、前回調査(平成 25 年 10 月)の 417 世帯 832 人と比較すると 20 世帯 25 人の減少となっており、増加を続けていたこれまでの調査とは違った結果となっている。

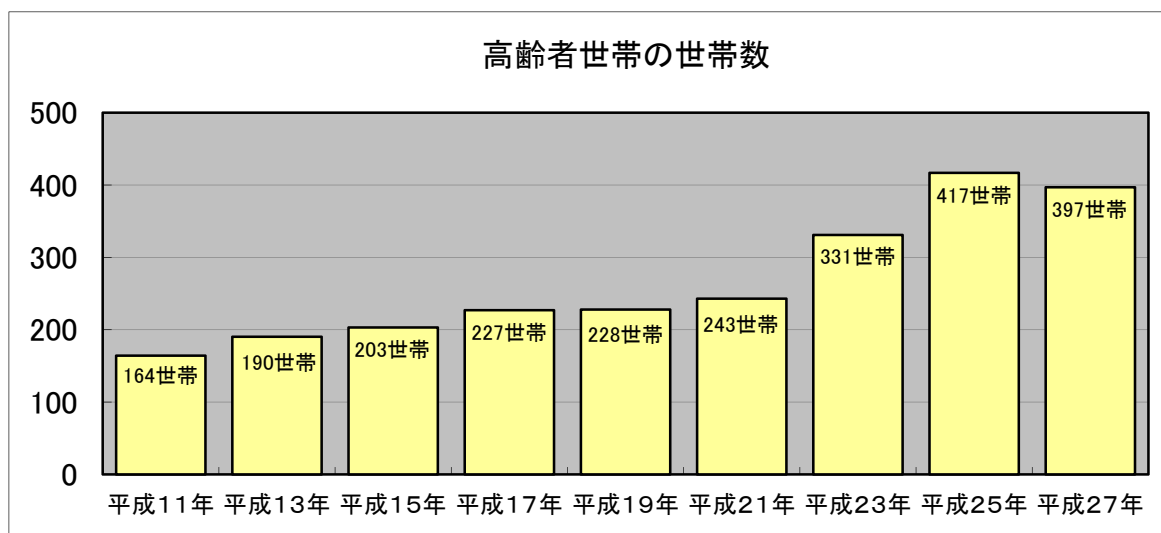
校区別では、過去 3 回の調査とほぼ同じ割合で東角校区、佐山校区、御牧校区の順となっているが、上記の総数と同じく、佐山校区を除いた御牧と東角については減少となっている。

構成員の性別については男女ともにほぼ半数となっており、高齢者世帯における性別上の偏りは少ないものと考ええる。

久御山町の高齢化率は増加している中、今回の回答数の減少という結果はどういったことを表しているのかということを検討する必要があるものと考ええる。

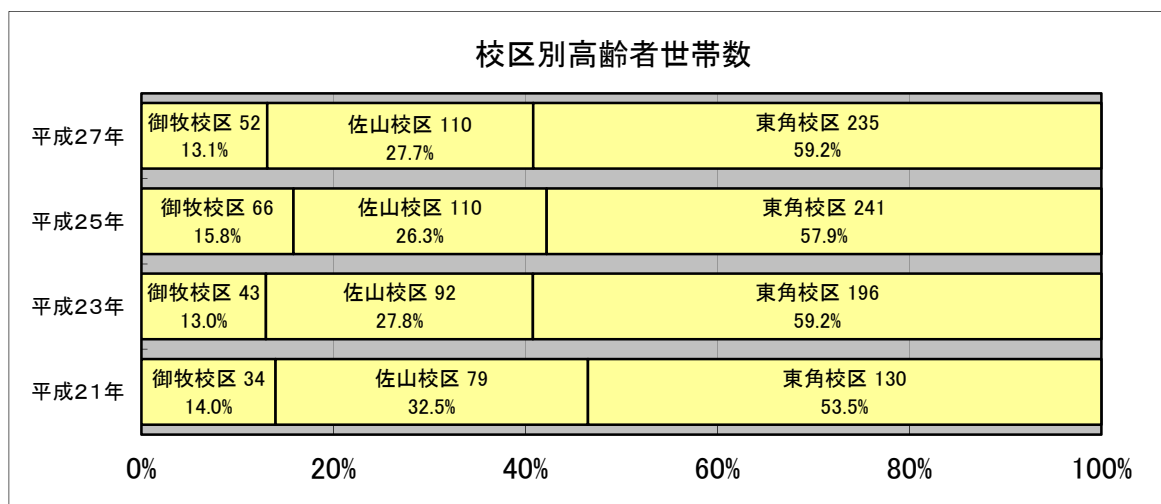
【高齢者世帯数の推移】

年 度	平成 11 年	平成 13 年	平成 15 年	平成 17 年	平成 19 年	平成 21 年	平成 23 年	平成 25 年	平成 27 年
世帯数	164	190	203	227	228	243	331	417	397



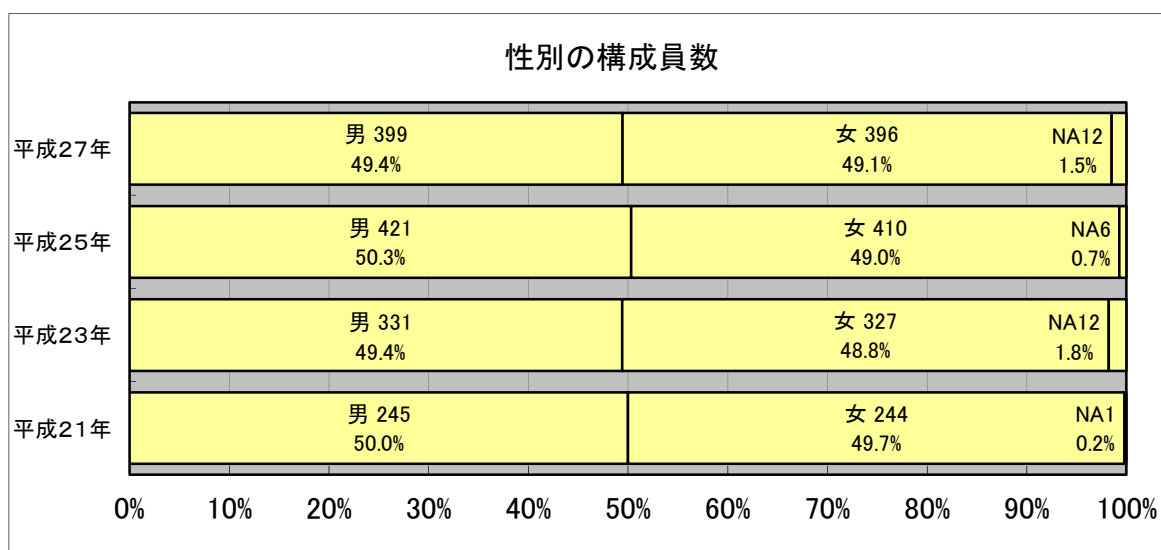
【校区別高齢者世帯数】

調査年度	御牧校区	佐山校区	東角校区
平成27年	52 (13.1%)	110 (27.7%)	235 (59.2%)
平成25年	66 (15.8%)	110 (26.3%)	241 (57.9%)
平成23年	43 (13.0%)	92 (27.8%)	196 (59.2%)
平成21年	34 (14.0%)	79 (32.5%)	130 (53.5%)



【性別の構成員数】

	男性 (%)	女性 (%)	無回答 (%)
平成27年	399 (49.4%)	396 (49.1%)	12 (1.5%)
平成25年	421 (50.3%)	410 (49.0%)	6 (0.7%)
平成23年	331 (49.4%)	327 (48.8%)	12 (1.8%)
平成21年	245 (50.0%)	244 (49.8%)	1 (0.2%)



【調査項目ごとの集計】

問1. あなたの世帯員の性別を教えてください。

	世帯主		世帯主以外①		世帯主以外②	
	回答	%	回答	%	回答	%
男性	379	95.5%	7	1.8%	9	37.5%
女性	11	2.8%	371	95.6%	13	54.2%
無回答	7	1.8%	10	2.6%	2	8.3%
合計	397		388		24	

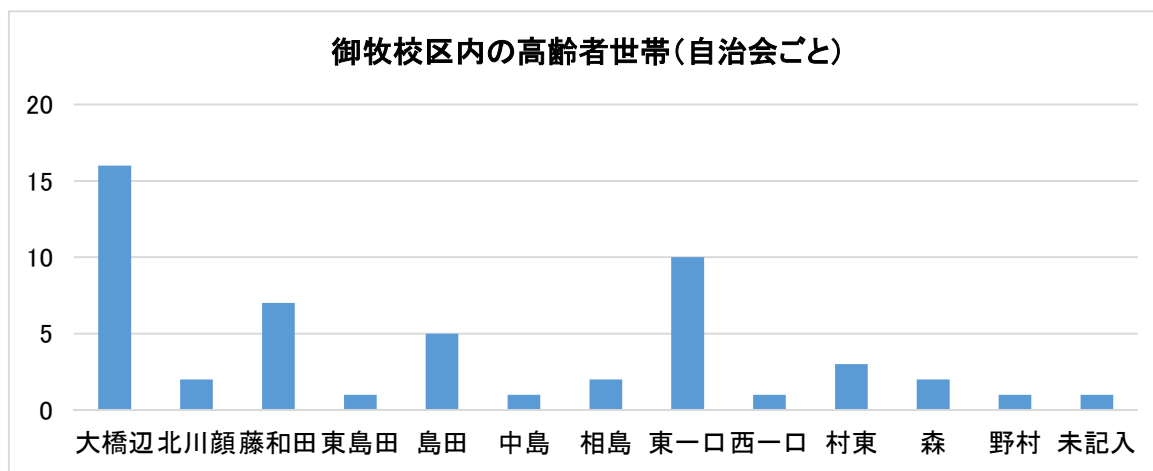
問2. あなたの年齢を教えてください。

	全体		世帯主		世帯主以外①		世帯主以外②	
	回答	%	回答	%	回答	%	回答	%
69歳以下	164	20.2%	50	12.6%	103	26.5%	11	44.0%
70歳～74歳	231	28.5%	109	27.5%	121	31.2%	1	4.0%
75歳～79歳	220	27.2%	118	29.7%	101	26.0%	1	4.0%
80歳～84歳	113	14.0%	76	19.1%	37	9.5%	0	0.0%
85歳～89歳	46	5.7%	33	8.3%	11	2.8%	2	8.0%
90歳以上	15	1.9%	4	1.0%	3	0.8%	8	32.0%
18歳以下	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	21	2.6%	7	1.8%	12	3.1%	2	8.0%
合計	810		397		388		25	

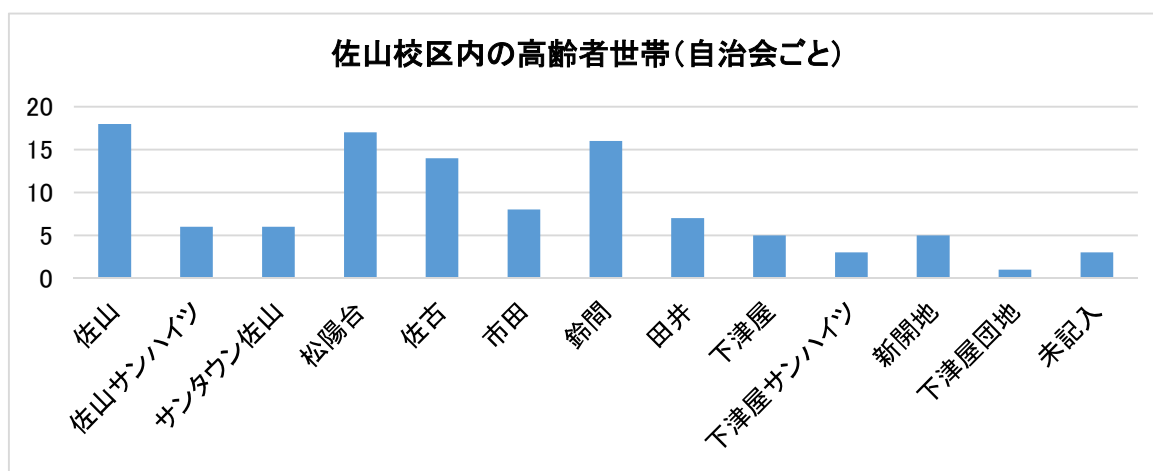
年齢については、「70歳～74歳」が231人(28.5%)で最も多く、次いで「75歳～79歳」、「69歳以下」の順となっており、前回調査では「69歳以下」の方が多かったこともあり、少しずつ高年齢化が進んでいるものと思われる。

また、今回の調査より18歳以下の回答も用意したが、0人という結果となっている。

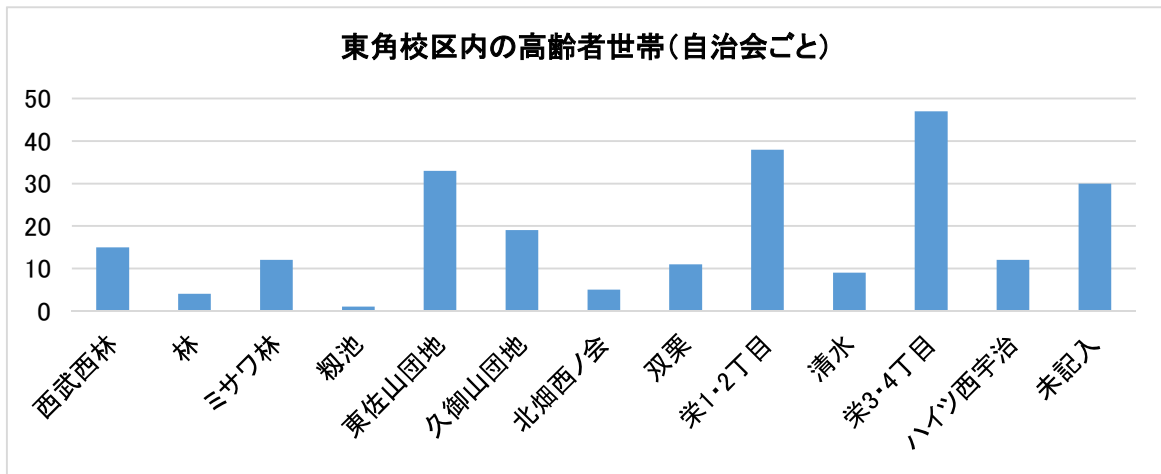
問3. みなさんがお住まいの自治会を教えてください。



大橋辺	16	中島	1	村東	3
北川顔	2	相島	2	森	2
藤和田	7	東一口	10	野村	1
東島田	1	西一口	1	未記入	1
島田	5				



佐山	18	市田	8	下津屋サンハイツ	3
佐山サンハイツ	6	鈴間	16	新開地	5
サントウン佐山	6	田井	7	下津屋団地	1
松陽台	17	下津屋	5	未記入	3
佐古	14				



西武西林	15	久御山団地	19	清水	9
林	4	北畑西ノ会	5	栄3・4丁目	47
ミサワ林	12	双栗	11	ハイツ西宇治	12
粕池	1	栄1・2丁目	38	未記入	30
東佐山団地	33				

問4. お子さんや近親者とは、どのくらいの間隔で会っておられますか。

	回答	%
ほぼ毎日	55	13.6%
週に3~5回	25	6.2%
週に1~2回	77	19.0%
月に1~2回	146	36.0%
年に5~6回	48	11.9%
年に1~2回	31	7.7%
ほとんどない	4	1.0%
近親者はいない	6	1.5%
無回答	13	3.2%
合計	405	

※複数回答あり

近親者との関わりの頻度については、「月に1~2回」が146人で最も多く、次いで「週に1~2回」、「ほぼ毎日」となっており、前回調査とほぼ同じ結果となっている。

また少数ではあるが、「ほとんどない」、「近親者はいない」と答えた方が10人あり、今後支何らかの支援が必要となるものとする。

※複数回答の方：7

問5. お子さんや近親者は、どこにお住まいですか。

	回答	%
久御山町	127	21.0%
宇治市	93	15.3%
城陽市	36	5.9%
京都市	118	19.5%
上の4市町以外の京都府内	52	8.6%
その他	166	27.4%
無回答	14	2.3%
合計	606	

※複数回答あり

近親者の居住地は、「その他」が166人(27.4%)と最も多い結果であり、府外に近親者が多いことがわかった。ただ、426人(70.3%)の人は京都府内に近親者がいると答えている。

実数では、表下の※印の通り、宇城久地域内に55.7%が、京都府内には72.5%がおられることがわかる。

※複数回答の方：166

※宇城久地域内にいる方：221 ⇔ いない方：176

※京都府内にいる方：288 ⇔ いない方：109

問6. お子さんや親族以外にお住まいの地域に話し相手や相談相手がありますか。

	回答	%
いる	310	78.1%
いない	68	17.1%
無回答	19	4.8%
合計	397	

親族等以外とのかかわりをお聞きしたこの設問では、78.1%の人が「いる」と答えている。しかし、17.1%の人は「いない」と答えている状況があり、そういった方と地域をつなぐ見守り活動等の支援が必要ではないかと考える。

問7. 問6で「いる」と答えた人にお聞きします。その話し相手はどこにお住まいですか。

	回答	%
同じ町内	245	69.0%
地域外の方	108	30.4%
無回答	2	0.6%
合計	355	

※複数回答あり

相談者がおられる方の内、69.0%の人は「同じ町内」に話し相手や相談者がいると答えている。また、30.4%の人は「地域外の方」と答えている。

※複数回答の方：37

※問6が「いる」でないが答えている人：8

問8. 問6で「いる」と答えた人にお聞きします。実際に悩みごと等を相談したことはありますか。

	回答	%
ある	154	48.0%
ない	154	48.0%
無回答	13	4.0%
合計	321	

※複数回答あり

「ある」と「ない」が同数の結果となっていることから、話し相手としてはいるが相談相手ではないと捉えている人が多いのではないかと考える。

※問6が「いる」でないが答えている人：11

問9. 毎日の生活の中で、心配していることや困っていることがありますか。

	回答	%
親族関係	7	1.5%
病 気	119	25.4%
収 入	35	7.5%
仕 事	9	1.9%
近所付き合い	8	1.7%
食事の用意	11	2.3%
掃 除	16	3.4%
ゴミ出し	10	2.1%
買い物	18	3.8%
将来のこと	74	15.8%
気軽に付き合える友人がない	4	0.9%
日々の金銭管理	1	0.2%
話を聞いてもらえる人がいない	2	0.4%
心配事はない	95	20.3%
その他	16	3.4%
無回答	44	9.4%
合 計	469	

※複数回答あり

心配ごとや困りごとについては、「病気」が119人(25.4%)で最も多く、次いで「心配事はない」が95人(20.3%)となった。これは前回調査と同様の結果となっており、3つ目が「将来のこと」74人(15.8%)も同じ順番となっている。

また、少ない中ではあるが「収入」についても35人(7.5%)と悩んでおられる方がおられることがわかる。

※複数回答の方：92

※その他の内容

- ・今のところないが先は分からない
- ・年金生活できない、医療費が高い
- ・町内で自分のほしいものが買えない
- ・のってこバスの運用
- ・重いものが持てない
- ・その時々である
- ・買い物は生協宅配
- ・息子の結婚
- ・時間がない
- ・妻の病気

問 10. 日頃の生活において、ご自身が困ったときにご近所や、お住まいの地域で助けてもらえる方がいますか。

	回答	%
いる	209	52.6%
いない	134	33.8%
無回答	54	13.6%
合計	397	

※複数回答あり

この設問では、「いる」が 209 人(52.6%)であることよりも「いない」が 134 人(33.8%)もおられることを重要視する必要があるものと考えます。今後の大きな課題だと捉えるべきである。

※問6で「いる」と答えた内、「いる」と答えた人：198 ⇔ 「いない」：112

問 11. 問 10 で「いる」と答えた人にお聞きします。助けてもらった内容をお聞かせください。

	回答	%
買い物	47	19.8%
洗濯	5	2.1%
ゴミ出し	17	7.2%
料理	13	5.5%
その他	107	45.1%
無回答	48	20.3%
合計	237	

※複数回答あり

「その他」が 107 人(45.1%)で最も多いが、その内容のほとんどは「今は必要ない」という内容であり、この設問の本質からはずれているものと考えます。

なお、実際の困りごと内容としては、「買い物」が 47 人(19.8%)と一番多くなっている。

※複数回答の方：15

※問10が「いる」でないが答えている人：5

※その他の内容

- ・相談事、重い荷物、おかず、自宅まで手を引く
- ・今のところ助けを必要としない
- ・金銭
- ・友人とお話をする
- ・冠婚葬祭
- ・ガス等の点検
- ・旅行の時の犬のえさやり
- ・病院の通院
- ・留守番
- ・留守時のゴミ当番等

問 12. あなたは地域の活動に参加していますか。

	回答	%
自治会	237	46.8%
地域福祉会	67	13.2%
荒見苑サークル	33	6.5%
ボランティア	42	8.3%
なにも参加していない	95	18.8%
無回答	32	6.3%
合計	506	

※複数回答あり

「自治会」が 237 人 (46.8%) で最も多いが、次は「なにも参加していない」が 95 人 (18.8%) となっている。

「地域福祉会」については 67 人 (13.2%) となっており、サロン活動への参加などの割合がそれほど高くないことがわかる。

※複数回答の方：80

※その他の内容

- ・いきがい大学・老人会行事
- ・スポーツサークル
- ・団地のゴミのコンテナ掃除はしています。

問 13. 将来どちらかが倒れた場合、もしくはお二人とも倒れられた場合、どうしたいと思いますか。

	回答	%
子どもや近親者に頼る	126	23.3%
ホームヘルパーやショートステイなどの在宅福祉サービスを利用する	157	29.1%
老人ホームなどの施設を利用する	110	20.4%
わからない	99	18.3%
その他	10	1.9%
無回答	38	7.0%
合計	540	

※複数回答あり

前回の調査では「わからない」が一番多かったが、今回は「在宅福祉サービス」が 29.1%、次いで「子ども等を頼る」が 23.3%、そして「施設を利用する」が 20.4% となっている。「わからない」が減少しており、介護サービスが身近なものになってきているのではないかと考える。

※複数回答の方：119

※その他の内容

- ・老老介護になってもここで生活したい。子供がおらず孤独死も覚悟
- ・安楽死希望
- ・まだ考えてない
- ・時の状況による
- ・考慮中
- ・施設が少ない、高い

問 14. 介護保険のサービスを利用していますか。

	回答	%
利用している	58	14.6%
利用していない	312	78.6%
無回答	27	6.8%
合計	397	

※複数回答あり

「利用していない」が 312 人 (78.6%) となっており、大多数の人が介護サービスを利用していないことが分かるが、この設問では必要だが使っていない人が計上されていないことを忘れてはいけない。

問 15. 問 14 で「利用している」と答えた人にお聞きします。どのようなサービスを利用していますか

	回答	%
デイサービス	31	41.9%
ホームヘルパー	14	18.9%
ショートステイ	9	12.2%
その他	14	18.9%
無回答	6	8.1%
合計	74	100.0%

※複数回答あり

「デイサービス」が 31 人 (41.9%) で最も多く、「ホームヘルパー」、「ショートステイ」と続いている。

また、「その他」では、介護用品レンタルやリハビリなどの回答が多くみられた。

※複数回答の方：10

※問 14 が「利用している」でないが答えている人：3

※その他の内容

- ・ 最近倒れたのでまだ利用はしていない
- ・ 手すり
- ・ 手押し車
- ・ リハビリ
- ・ 手すりその他借りている
- ・ ベッドのレンタル
- ・ リハビリ施設
- ・ 住宅改造
- ・ 訪問リハビリ
- ・ 老健
- ・ ベッド、歩行器など

問 16. あなたの健康状態はいかがですか。

	全体		世帯主		世帯主以外①		世帯主以外②	
	回答	%	回答	%	回答	%	回答	%
大変健康である	50	6.2%	22	5.5%	22	5.7%	6	25.0%
大きな病気もなく、普通に生活をしている	304	37.4%	144	35.9%	156	40.2%	4	16.7%
何らかの病気等はあるが、自宅で生活できている	386	47.5%	199	49.6%	179	46.1%	8	33.3%
その他	32	3.9%	15	3.7%	12	3.1%	5	20.8%
無回答	41	5.0%	21	5.2%	19	4.9%	1	4.2%
合計	813		401		388		24	

※その他の内容

- ・ 脳幹出血で右半身が不自由。今は一人で散歩でき、自分のことはできる。
- ・ 胃全摘出しがし 4 年目で元気
- ・ 脳梗塞後遺症のリハビリ中
- ・ 施設の利用が必要です。
- ・ 要介護 5
- ・ 車いす生活
- ・ 週 3 回の通院
- ・ 特養入所中
- ・ テイサービス、ショートステイ
- ・ 病気はあるが働いている
- ・ 1 人で暮らせない
- ・ 介護で休めない
- ・ 介護が必要
- ・ 聴力の低下
- ・ 入退院
- ・ 老健に入所中
- ・ ショートステイ
- ・ 入院中
- ・ 病院通い

「何らかの病気はあるが自宅で生活できている」が 386 人(47.5%)で最も多い。また「普通に生活している」と「大変健康である」と答えた人が 43.6%となっており、ほぼ前回調査と同じ結果となった。

問 17. あなたは、普段健康に気をつけていますか。

	全体		世帯主		世帯主以外①		世帯主以外②	
	回答	%	回答	%	回答	%	回答	%
気を付けている	660	81.8%	326	82.1%	319	82.4%	15	65.2%
気を付けていない	18	2.2%	10	2.5%	7	1.8%	1	4.3%
どちらともいえない	85	10.5%	42	10.6%	40	10.3%	3	13.0%
無回答	44	5.5%	19	4.8%	21	5.4%	4	17.4%
合計	807		397		387		23	

8 割以上の方が「気を付けている」と答えている。前回調査とほぼ同じ割合となっており、多くの方が健康に留意して生活されていることがわかる。

問 18. 問 17 で「気をつけている」と答えた人にお聞きします。特に気をつけていることは何ですか。

	全体		世帯主		世帯主以外①		世帯主以外②	
	回答	%	回答	%	回答	%	回答	%
散歩やスポーツをしている	342	14.2%	189	15.6%	153	13.2%	0	0.0%
栄養のバランスなど食事に気をつけている	458	19.1%	215	17.7%	239	20.6%	4	13.3%
規則正しい生活を心がけている	434	18.1%	220	18.1%	210	18.1%	4	13.3%
健康に関する本やテレビをみている	255	10.6%	112	9.2%	142	12.3%	1	3.3%
定期的に健診を受けている	497	20.7%	265	21.8%	224	19.3%	8	26.7%
睡眠時間を十分とるようにしている	400	16.7%	210	17.3%	183	15.8%	7	23.3%
無回答	16	0.7%	2	0.2%	8	0.7%	6	20.0%
合計	2,402		1,213		1,159		30	

※複数回答あり

「定期的な検診」と「食事」、そして「規則正しい生活」と「睡眠時間」や「運動」など、様々な設問について多くの回答があった。この設問においても複数回答された方が多かった。

問 19. 民生児童委員活動を知っていますか。

	回答	%
知っている	209	52.6%
あまり知らない	135	34.0%
知らない	25	6.3%
無回答	28	7.1%
合計	397	100.0%

※複数回答あり

「知っている」が 52.6%と半数を超える人が民生委員活動を知っていることが分かる。今後は残り 40.3%の人への周知が必要と考える。

問 20. 民生児童委員に相談するならどのようなことを相談したいですか。

	回答	%
地域の事	52	12.4%
ご自身の事	69	16.4%
家族の事	52	12.4%
その他	78	18.6%
無回答	169	40.2%
合計	420	

※複数回答あり

「その他」が78人(18.6%)と最も多いが、その内容は「今はないが、今後は相談したい」というような内容がほとんどだった。無回答も多い結果となっている。

※複数回答の方：21

※その他の内容

- ・今はないが、今後何かあれば相談したいと思っています
- ・今は解決できているので相談するかわからない
- ・暮らしと融資の件
- ・体が動けなくなった時に相談
- ・災害など緊急時の事

問 21. 何か必要なことがある場合、あなたの自宅へ社会福祉協議会職員や民生児童委員が訪問することを希望しますか。

	回答	%
訪問を希望する	46	11.6%
必要時のみ訪問を希望する	261	65.7%
訪問を希望しない	45	11.3%
無回答	45	11.3%
合計	397	

※複数回答あり

「必要時のみ訪問を希望する」が261人(65.7%)と最も多く、他の回答は無回答を含めてすべて45人程度となっている。

問 22. 社会福祉協議会では、地域福祉を充実させるためにさまざまな活動や取り組みを行っていますが、要望等があればお書きください。

- ・ 民生児童委員の人がよく訪ねて下さるので喜んでいきます。
- ・ ボランティア活動のできる長女がいます。
- ・ 高齢者 3 人のため今後は心配。特に 99 歳の父親の事が心配。
- ・ 木津川決壊のときどこへ逃げたらよいか、早く助けに来てほしい
- ・ 調査の目的をはっきり示し、結果も開示した方がよい
- ・ 防犯カメラを設置してほしい
- ・ 見守りネットワークは非常に意義ある活動だと思うが、啓蒙活動に重点を置き自治会やサロンで説得力ある勧誘が必要だと思う
- ・ 9月に転入、まだここでの生活は軌道に乗ってない
- ・ 夫婦とも高齢のため、今後の事が心配なのでよろしくお願いします
- ・ 一人の時、病気やけがで動けなくなったら困る
- ・ さまざまな社会活動が行われている事は承知しているが、結局は自分のことは自分で結果をつけるしかないと思う。年々でできることを続けていく所存
- ・ 適切な情報の発信をお願いします
- ・ 町内の人とは仲良くしたいと思っています。いきいきサロン、なごみサロン等参加して過ごしております。

3. 高齢者の在宅介護者調査のまとめ

【概況】

今回調査における「在宅で介護を受けている高齢者」は 41 人となっており、前回調査(平成 25 年 10 月)と比べると 24 人の減少となっており、平成 15 年に実施した調査と同等の減少となっている。

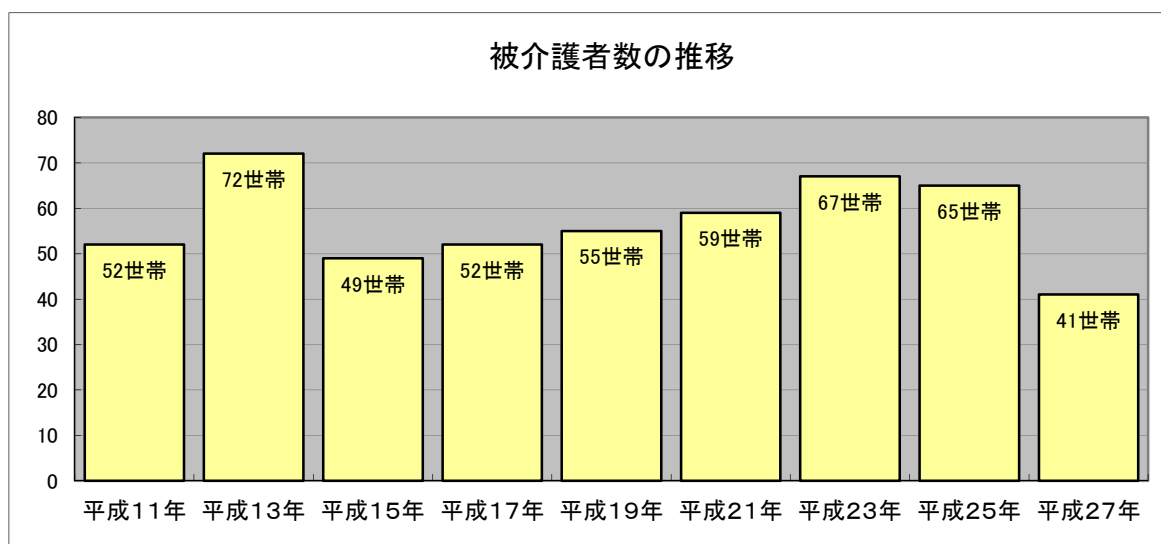
校区別で見ると、御牧校区が 22 世帯、佐山校区が 7 世帯、東角校区が 12 世帯となっており、御牧校区以外は前回調査より半減していることがわかる。

また、主な介護者の性別は 53.7%が女性、46.3%が男性となっており前回調査より男性の割合が高い結果となっている。

調査結果を単純に見た場合、上記のような見方となるものと思われるが、回答数が多いへん少ないため、結果が必ずしも町内の状況とつながるものではないものところらえる必要があるものとする。

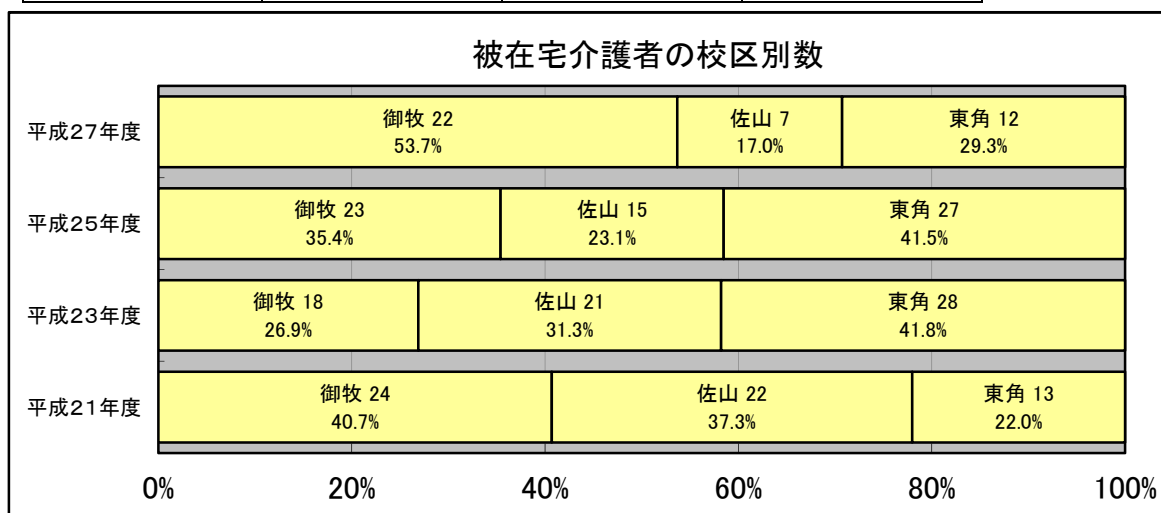
【在宅で介護を受けている高齢者数の推移】

年 度	平成 11 年	平成 13 年	平成 15 年	平成 17 年	平成 19 年	平成 21 年	平成 23 年	平成 25 年	平成 27 年
世帯数	52	72	49	52	55	59	67	65	41



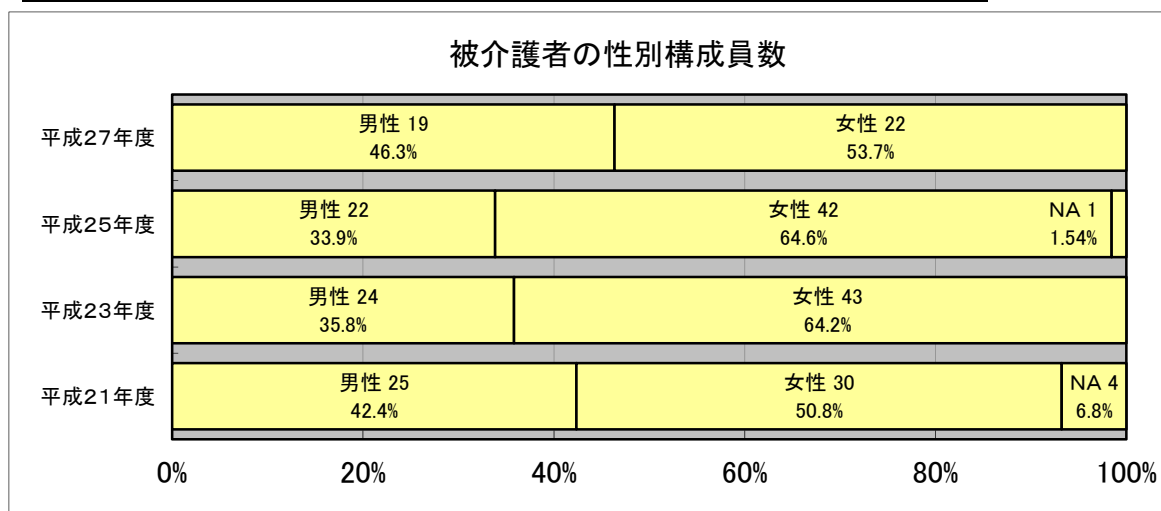
【在宅被介護者の校區別数】

調査年度	御牧校区	佐山校区	東角校区
平成 27 年	22 (53.7%)	7 (17.0%)	12 (29.3%)
平成 25 年	23 (35.4%)	15 (23.1%)	27 (41.5%)
平成 23 年	18 (26.9%)	21 (31.3%)	28 (41.8%)
平成 21 年	24 (40.7%)	22 (37.3%)	13 (22.0%)



【被介護者の性別構成】

	男性 (%)	女性 (%)	無回答 (%)
平成 27 年	19 (46.3%)	22 (53.7%)	0 (0.0%)
平成 25 年	22 (33.8%)	42 (64.6%)	1 (1.5%)
平成 23 年	24 (35.8%)	43 (64.2%)	0 (0.0%)
平成 21 年	25 (42.4%)	30 (50.8%)	4 (6.8%)



【調査項目ごとの集計】

問1. 介護が必要な高齢の方と主たる介護者の性別及び続柄を教えてください。

	要介護者		主たる介護者	
	回答	%	回答	%
男性	19	46.3%	14	34.1%
女性	22	53.7%	27	65.9%
無回答	0	0.0%	0	0.0%
合計	41		41	

要介護者は男性が46.3%、女性が53.7%と前回よりも男性の比率が増加する結果となった。また主たる介護者の性別は65.9%が女性、34.1%が男性となり、要介護者と同じく男性の比率が増加した。家族の状況にもよるが、男性が介護に関わる割合が増加していることがわかる。

※要介護者が「男性」の内、主たる介護者が男性の割合は21.0%（全て長男）

※要介護者が「女性」の内、主たる介護者が男性の割合は45.5%（夫3、長男4、次男1、未記入2）

※主たる介護者が「男性」の内、夫3名、長男7名、次男1名、未記入1名

※主たる介護者が「女性」の内、妻13名、嫁5名、娘2名、長女1名、養女1名、未記入5名

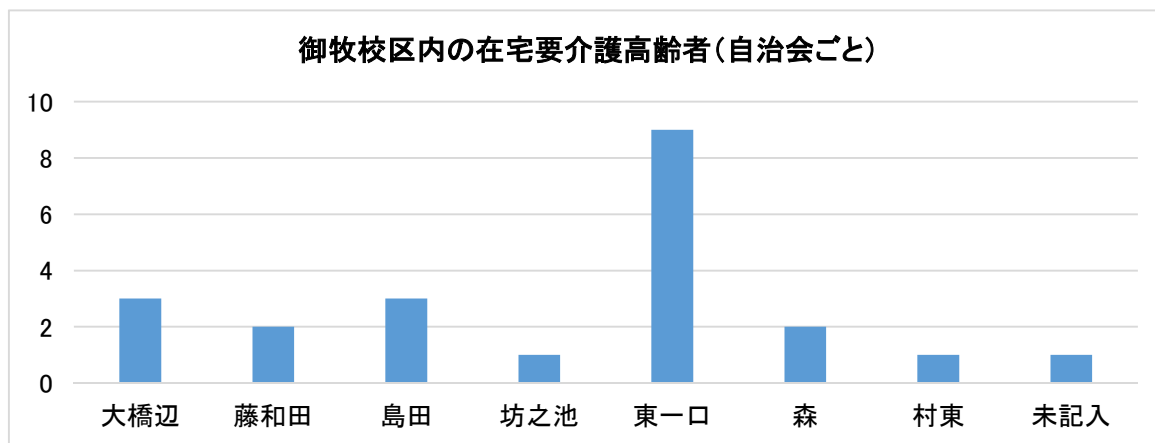
問2. 介護が必要な高齢の方と介護者の年齢を教えてください。

要介護者	回答	%	介護者	回答	%
69歳以下	4	9.8%	34歳以下	0	0.0%
70歳～74歳	3	7.3%	35歳～49歳	1	2.4%
75歳～79歳	9	22.0%	50歳～59歳	8	19.5%
80歳～84歳	7	17.1%	60歳～69歳	17	41.5%
85歳～89歳	9	22.0%	70歳～79歳	11	26.8%
90歳以上	9	22.0%	80歳以上	4	9.8%
無回答	0	0.0%	無回答	0	0.0%
合計	41		合計	41	

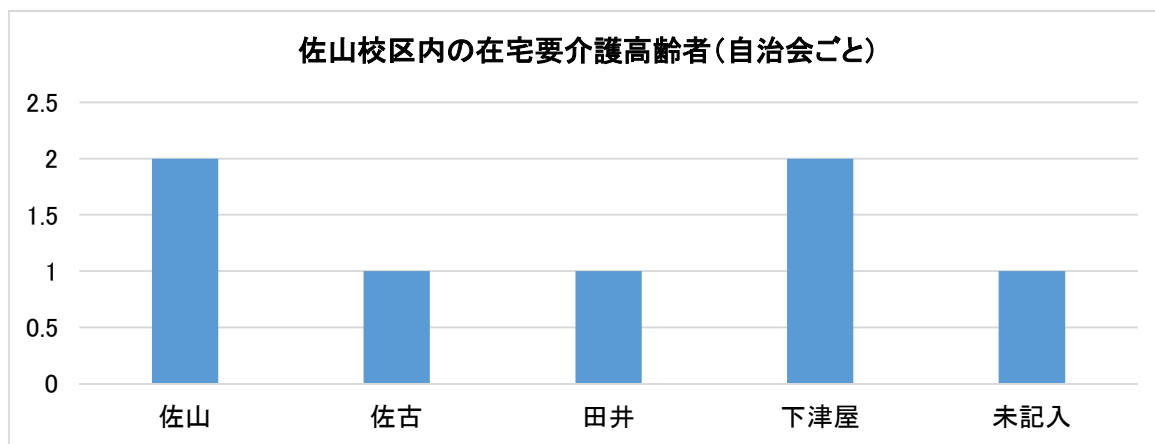
要介護者の年齢は、「75歳～79歳」、「85歳～89歳」、「90歳以上」が同数回答で22.0%となっており、次いで「80歳～84歳」となっており、75歳を超えたところから介護が必要となられる方が多いことが伺える。

また、介護者を見ると、「60歳～69歳」の人が41.5%と一番多く、次いで「70歳～79歳」の26.8%という順となった。

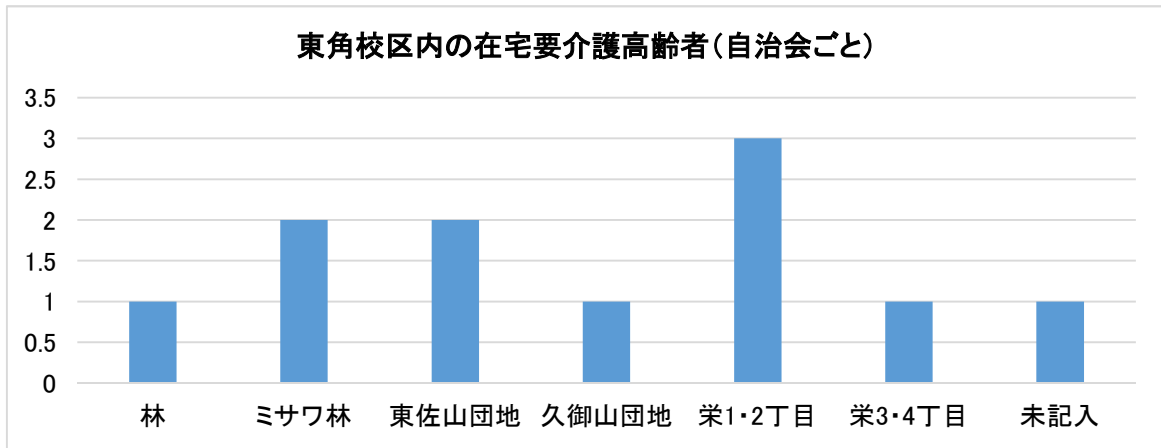
問3. みなさんがお住まいの自治会を教えてください。



大橋辺	3	坊之池	1	村東	1
藤和田	2	東一口	9	未記入	1
島田	3	森	2		



佐山	2	田井	1	未記入	1
佐古	1	下津屋	2		



林	1	久御山団地	1	栄3・4丁目	1
ミサワ林	2	栄1・2丁目	3	未記入	1
東佐山団地	2				

問4. 介護されている期間はどれくらいですか。

	回答数	%
3ヶ月以上1年未満	1	2.4%
1年以上2年未満	2	4.9%
2年以上3年未満	6	14.6%
3年以上5年未満	10	24.4%
5年以上7年未満	3	7.3%
7年以上10年未満	2	4.9%
10年以上	15	36.6%
無回答	2	4.9%
合計	41	

介護期間は「10年以上」が36.6%で一番多く、次いで「3年以上5年未満」の24.4%という結果だった。

全体の割合を見ると、3年以上介護されている方が73.2%となっており、多くの方が長期間の介護を続けておられる状況を見ることができる。

問5. あなた(介護者)の健康状態はいかがですか。

	回答数	%
大変健康である	1	2.4%
大きな病気や障害もなく、普通に生活をしている	20	48.8%
何らかの病気等はあるが、介護しながら生活できている	18	43.9%
その他	2	4.9%
無回答	0	0.0%
合計	41	

介護者の健康状態については、「大きな病気や障害もなく、普通に生活をしている」と答えた人が48.8%で、43.9%の人が「何らかの病気等はあるが、介護しながら生活できている」と答えられた。

約半数の方が、体調不良と向き合いながら介護されているものとする。

※その他の内容

- ・3か月寝たきり
- ・手や肩、膝など痛みはあるが、何とか介護している

問6. 介護上困っていることは何ですか。

	回答数	%
外出の介助(病院等への送迎)	19	14.1%
体を拭く・入浴の介助	7	5.2%
排泄の介助	12	8.9%
食事の介助	9	6.7%
着替え等の介助	11	8.1%
自由時間がない	15	11.1%
家事や育児に支障がある	1	0.7%
仕事に就けない・支障が生じる	6	4.4%
心身的負担	27	20.0%
経済的負担	10	7.4%
意思疎通ができにくい	15	11.1%
その他	2	1.5%
無回答	1	0.7%
合計	135	

※複数回答あり

介護上の困りごとは、「心身的負担」が20.2%と最も多く、次に「外出の介助」、「自由時間がない」、「意思疎通ができにくい」と続いている。日々の介助を负担に感じている人が多くおられること、そして介護者に自由時間があまりない状況があるものとする。

※複数回答の方：32

※その他の内容

- ・介護しているが、特に困ったとは考えていません。
- ・車いすとベッドののりうつり

問7. 介護の悩みや不安などを誰に相談していますか、またはしたいですか。

	回答数	%
家族	20	29.0%
友人	10	14.5%
ケアマネージャー	25	36.2%
民生児童委員	4	5.8%
特になし	3	4.3%
その他	4	5.8%
無回答	3	4.3%
合計	69	

※複数回答あり

介護を行う上での悩みや不安を相談する相手として、36.2%の人は「ケアマネージャー」を挙げており、ケアプラン作成者としての存在が大きいものであることが分かる。次いで「家族」が29.0%、「友人」が14.5%となっている。

※複数回答の方：21

※その他の内容

- ・ 訪問看護師
- ・ 看護師

問8. 日頃の生活において、ご自身が困ったときにご近所や、お住まいの地域で助けられる方がおられますか。

	回答数	%
いる	14	34.1%
いない	26	63.4%
無回答	1	2.4%
合計	41	

26人(63.4%)の人は地域の中に支援者は「いない」と回答されており、「いる」と回答された人は34.1%となっている。

介護が家の中の課題であって社会化がされていないのではないかと考える。

問9. 問8を「いる」と答えた人にお聞きします。助けてもらった内容をお聞かせください。

	回答数	%
買い物	3	20.0%
洗濯	0	0.0%
ゴミ出し	0	0.0%
料理	1	6.7%
その他	8	53.3%
無回答	3	20.0%
合計	15	

介護者がおられる中での設問であるため、洗濯やゴミ出しについては、回答者無し、また買い物や料理についてもたいへん少ないものとなっている。

設問自体が調査対象者とマッチしていない可能性もあるのではないかと考える。

※問8が「いる」でないが答えている人：1

※その他の内容

- ・徘徊した時、自宅にお連れくださった。連絡をいただいた。
- ・デイサービスの迎え、外出時の見守りや食事の用意
- ・こけた時起こしてもらう
- ・車いすからおりたとき
- ・今のところ助けてもらったことはない。

問10. 介護保険サービスを利用していますか。

	回答数	%
利用している	39	95.1%
利用していない	1	2.4%
無回答	1	2.4%
合計	41	

今回の調査では95.1%の方が「利用している」と答えており、72.3%だった前回調査よりも20%以上増加しており、より多くの方に介護や福祉のサービスが繋がっていることがわかる。

問 11. 問 10 で「利用している」と答えた人へお聞きします。どのようなサービスを利用していますか。

	回答数	%
デイサービス	32	53.3%
ホームヘルパー	7	11.7%
ショートステイ	10	16.7%
その他	9	15.0%
無回答	2	3.3%
合計	60	

※複数回答あり

実際に利用されているサービスとしては、「デイサービス」が 32 人 (53.3%) で約半数の人が利用していることが分かる。逆にヘルパー利用者が少ない結果となっている。これは調査対象者が中度以上の要介護者であることがこの結果につながっているのではないかと考える。

※複数回答の方：15

※その他の内容

- ・ 訪問入浴 ・ 訪問看護 ・ 訪問リハビリ ・ ベッド等のレンタル
- ・ 小規模多機能 ・ 看護師 ・ 老健に入所 ・ 入浴の介助

問 12. 問 10 で「利用している」と答えた人へお聞きします。サービスに満足していますか。

	回答数	%
サービスに満足している	34	87.2%
サービスに満足していない	2	5.1%
無回答	3	7.7%
合計	39	

87.2%の人が介護保険サービスに満足していると答えており、満足度の高さを感ずるが、満足していない 5.1%の方への対応が今後も必要と考える。

問 13. 問 10 で「利用していない」と答えた人へお聞きします。利用しない理由を教えてください。

	回答数	%
家族で介護が出来るため	3	75.0%
本人が利用を嫌がっている	1	25.0%
費用負担が大変なため	0	0.0%
その他	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合計	4	

※複数回答あり

「家族で介護ができるため」が最も多く 75.0%となっており、次いで「本人が利用を嫌がっている」となっているが、絶対数が少ないので、調査結果としては大変弱いものとする。

※複数回答の方：1

※問 10 が「利用していない」でないが答えている人：2

問 14. 将来、家族だけで介護ができなくなった場合、どうしたいと思いますか。

	回答数	%
ホームヘルパーやショートステイ等の在宅福祉サービスを利用する	11	21.6%
老人ホームなどの施設を利用する	20	39.2%
わからない	16	31.4%
その他	0	0.0%
無回答	4	7.8%
合計	51	

※複数回答の方：10

※その他の内容

- ・ 経済的に可能なら利用

施設を利用すると答えた人が最も多く 39.2%となっており、次いで在宅福祉サービスを利用すると答えた人 21.6%となった。

前回調査で在宅が施設利用を超えたが、今回また逆転することとなった。

問 15. 民生児童委員活動を知っていますか。

	回答	%
知っている	15	36.6%
あまり知らない	20	48.8%
知らない	3	7.3%
無回答	3	7.3%
合計	41	

(複数回答あり)

「あまり知らない」が 48.8%と最も多く、次いで「知っている」が 36.6%となっている。介護者とのつながりの希薄さを感じる。

問 16. 民生児童委員に相談するならどのようなことを相談したいですか。

	回答	%
地域の事	3	7.0%
ご自身の事	5	11.6%
家族の事	13	30.2%
その他	4	9.3%
無回答	18	41.9%
合計	43	

※複数回答あり

「その他」が 18人 (41.9%)と最も多く、次いで「家族の事」が 13人 (30.2%)となっている。その他の内容としては「相談することがわからない」というような内容となっている。

※複数回答の方：2

※その他の内容

- ・ どこまで話をして良いのかわからない
- ・ 相談することがわからない

問 17. 何か必要なことがある場合、あなたの自宅へ社会福祉協議会職員や民生児童委員が訪問することを希望しますか。

	回答	%
訪問を希望する	5	12.2%
必要時のみ訪問を希望する	25	61.0%
訪問を希望しない	6	14.6%
無回答	0	0.0%
合計	5	

(複数回答あり)

「必要時のみ訪問を希望する」が25人(61.0%)と最も多く、無回答を除く他の回答は12~14%となっている。

問 18. 社会福祉協議会では、地域福祉を充実させるためにさまざまな活動や取り組みを行っていますが、要望等があればお書きください。

- ・勤務が日祝関係ないので、年末年始のヘルパーやデイサービスが休みなので困っている。

4. ひとり暮らし高齢者世帯調査のまとめ

【概況】

今回調査での「ひとり暮らし高齢者」の人数は 338 人であり、前回の調査と比べて 20 人の増加となっており、年を追うごとに着実に増加していることがわかる。

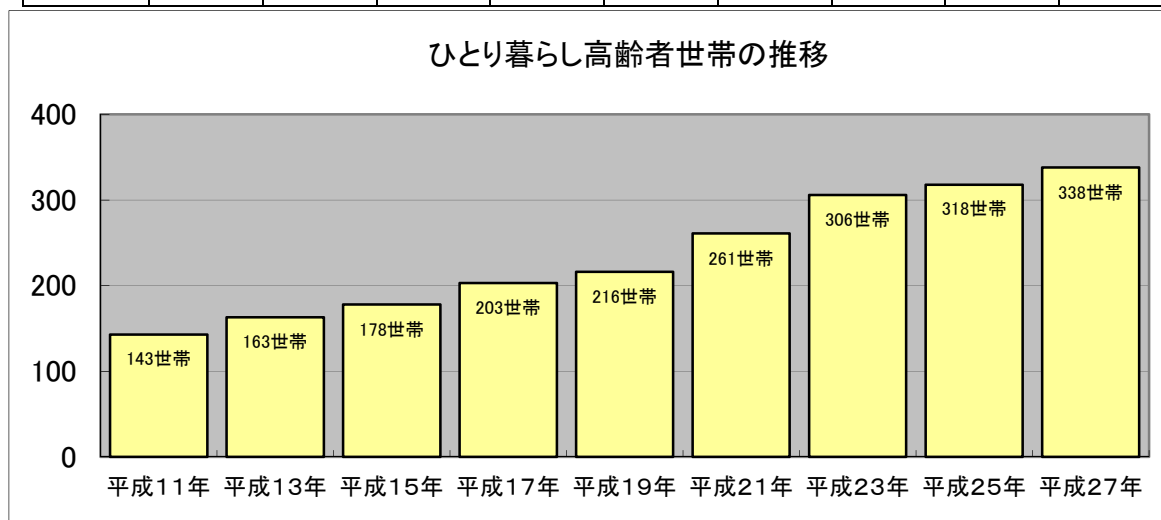
校區別に見ると御牧校区が 57 人、佐山校区が 87 人、東角校区が 194 人となっており、御牧校区は 6 人、東角校区は 16 人の増加となった。佐山校区は 2 人の減少となっている。

性別については女性が大変多く、261 人で 77.2%となっており、ほぼ横ばいの結果となっている。

ひとり暮らし高齢者世帯は、今後も着実に増加していくものと考えられることから、地域における見守り体制の強化や福祉施策の情報提供等に力を入れていく必要があるものとする。

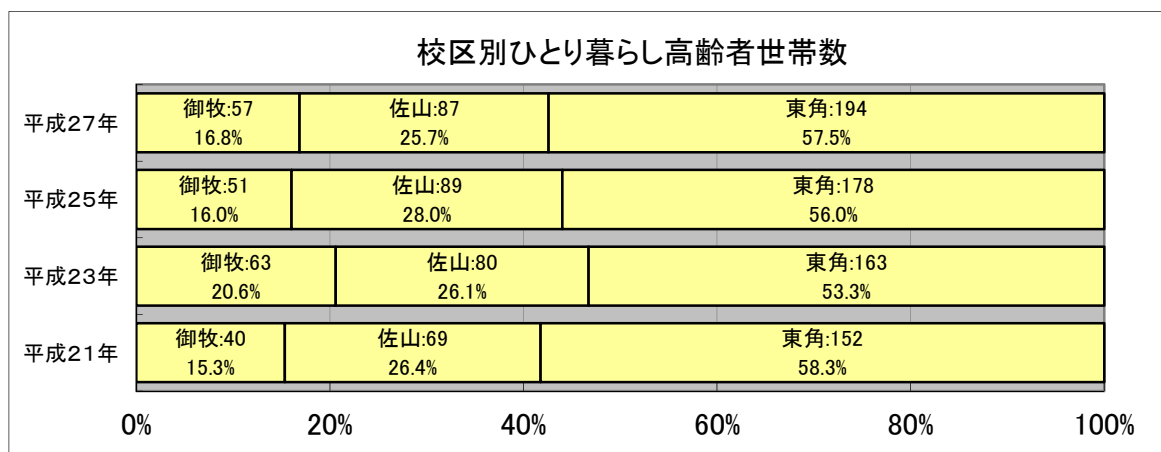
【ひとり暮らし世帯数の推移】

年 度	平成 11 年	平成 13 年	平成 15 年	平成 17 年	平成 19 年	平成 21 年	平成 23 年	平成 25 年	平成 27 年
世帯数	143	163	178	203	216	261	306	318	338



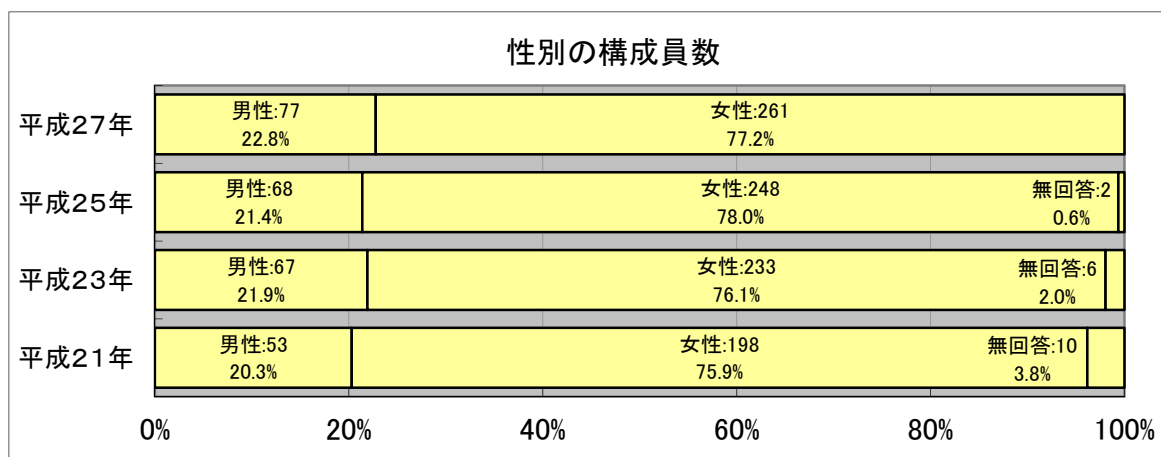
【校区別ひとり暮らし高齢者世帯数】

調査年度	御牧校区	佐山校区	東角校区
平成27年	57 (16.8%)	87 (25.7%)	194 (57.5%)
平成25年	51 (16.0%)	89 (28.0%)	178 (56.0%)
平成23年	63 (20.6%)	80 (26.1%)	163 (53.3%)
平成21年	40 (15.3%)	69 (26.4%)	152 (58.3%)



【性別の構成員数】

	男性 (%)	女性 (%)	無回答 (%)
平成27年	77 (22.8%)	261 (77.2%)	0 (0.0%)
平成25年	68 (21.4%)	248 (78.0%)	2 (0.6%)
平成23年	67 (21.9%)	233 (76.1%)	6 (2.0%)
平成21年	53 (20.3%)	198 (75.9%)	10 (3.8%)



【調査項目ごとの集計】

問1. あなたの性別を教えてください。

	回答数	%
男性	77	22.8%
女性	256	75.7%
無回答	5	1.5%
合計	338	

男性が22.8%、女性が75.7%とこれまでの調査と同じく女性が大変多い結果となった。

ただ、前回よりも男性の比率が僅かではあるが増加している。

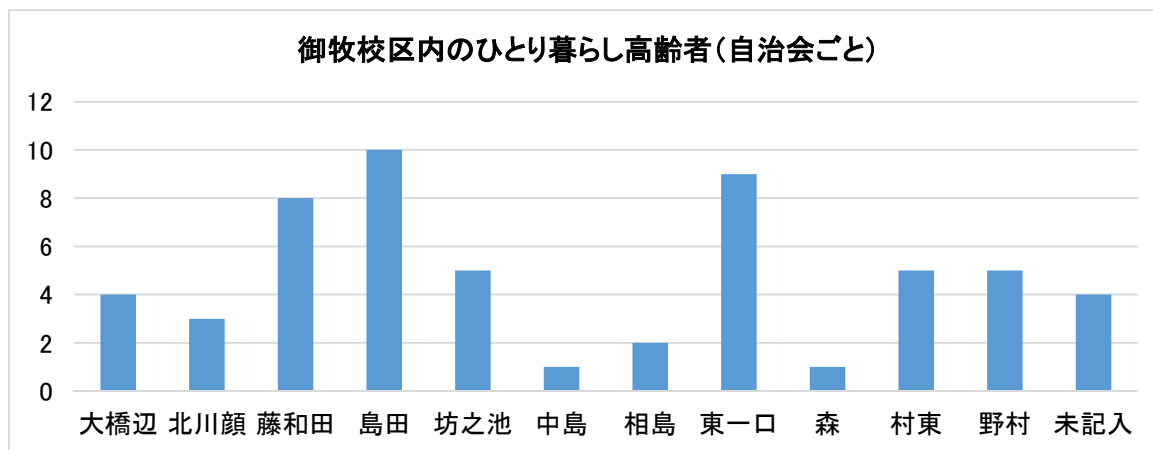
問2. あなたの年齢を教えてください。

	回答	%
69歳以下	42	12.4%
70歳～74歳	76	22.5%
75歳～79歳	99	29.3%
80歳～84歳	57	16.9%
85歳～89歳	40	11.8%
90歳以上	17	5.0%
無回答	7	2.1%
合計	338	

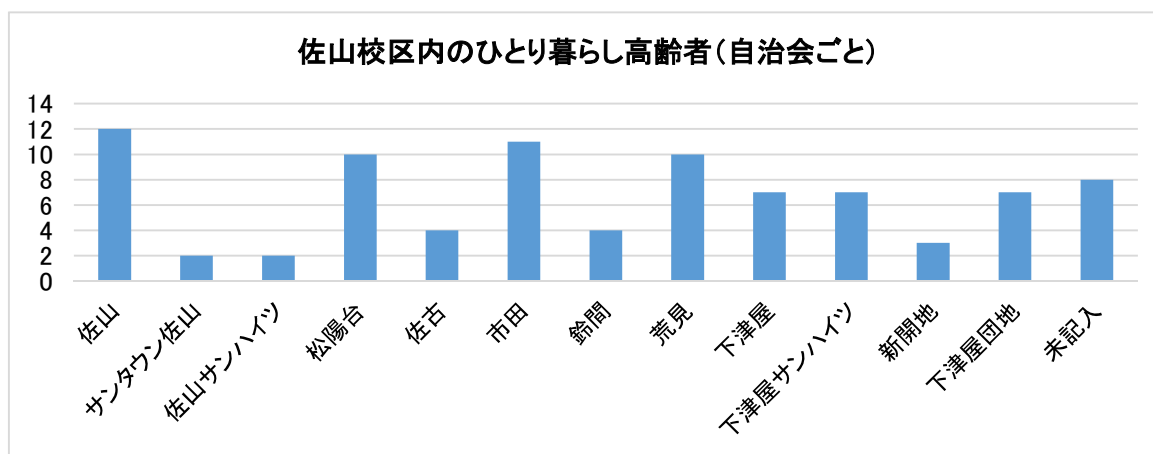
年齢については、「75歳～79歳」が29.3%と最も多く、次いで「70歳～74歳」が22.5%、「80歳～84歳」の16.9%と続いている。

前回の調査では「70歳～74歳」の人が一番多かったが、全体の割合を見ると今回もほぼ同じ状況に見ることができる。

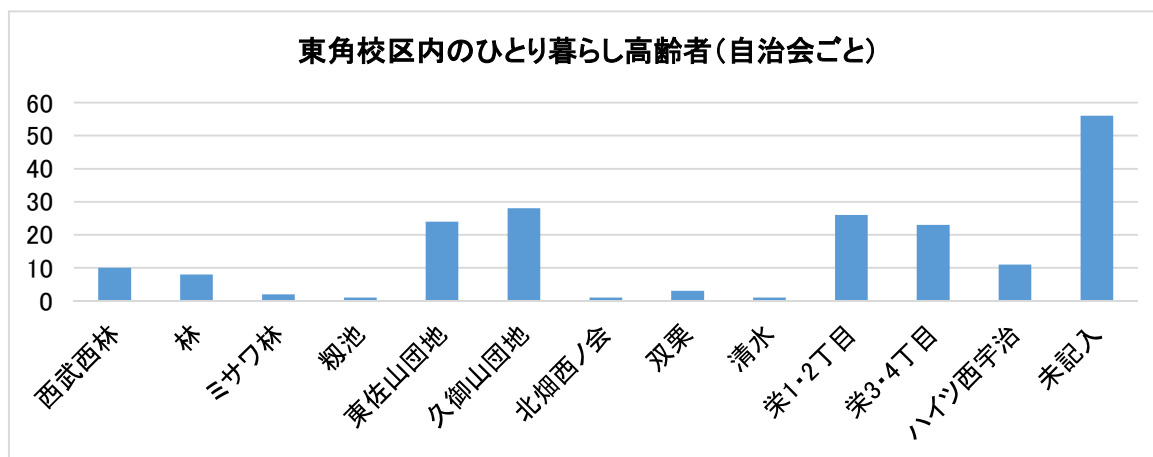
問3. あなたがお住まいの自治会を教えてください。



大橋辺	4	坊之池	5	森	1
北川顔	3	中島	1	村東	5
藤和田	8	相島	2	野村	5
島田	10	東一口	9	未記入	4



佐山	12	市田	11	下津屋サンハイツ	7
サントウン佐山	2	鈴間	4	新開地	3
佐山サンハイツ	2	荒見	10	下津屋団地	7
松陽台	10	下津屋	7	未記入	8
佐古	4				



西武西林	10	久御山団地	28	栄1・2丁目	26
林	8	北畑西ノ会	1	栄3・4丁目	23
ミサワ林	2	双栗	3	ハイツ西宇治	11
粉池	1	清水	1	未記入	56
東佐山団地	24				

問4. お子さんや近親者とはどのくらいの間隔で会っておられますか。

	回答数	%
ほぼ毎日	61	18.0%
週に1～2回	75	22.2%
月に1～2回	92	27.2%
年に5～6回	27	8.0%
年に1～2回	24	7.1%
ほとんどない	24	7.1%
近親者はいない	13	3.8%
無回答	22	6.5%
合計	338	

近親者と会う間隔は、「月に1～2回」が92人(27.2%)と最も多く、次いで「週に1～2回」が75人(22.2%)、「ほぼ毎日」が61人(18.0%)となっており、67.4%の人が月に1回以上は会っておられることとなる。

しかし、「ほとんどない」や「近親者はいない」と答えている人が1割程度あることが今後の課題だと考える。

問5. お子さんや近親者は、どこにお住まいですか。

	回答数	%
久御山町	104	21.2%
宇治市	67	13.7%
城陽市	39	8.0%
京都市	79	16.1%
京都府内で前記以外の地域	31	6.3%
京都府外の地域	137	28.0%
無回答	33	6.7%
合計	490	

※複数回答あり

「京都府以外の地域」が最も多く28.0%となっており、次いで「久御山町」、「京都市」、「宇治市」と続いております。前回と同順となっております。

欄外に記載しているが、53.2%の人は近親者が宇城久管内に、70.4%の人は京都府内におられることがわかる。

※複数回答の方：117

※宇城久地域内には近親者がいる人：180 ⇔ いない人：125

※京都府内には近親者がいる人：238 ⇔ いない人：67

問6. お子さんや親族以外にお住まいの地域に話し相手や相談相手がありますか。

	回答数	%
いる	244	72.2%
いない	73	21.6%
無回答	21	6.2%
合計	338	

72.2%の人は自分の住んでいる地域に話し相手や相談相手が「いる」と答えており、地域内である程度の関係は取れているものと考えますが、「いない」と答えた方が21.6%もおられることを見ておく必要がある。

問7. 問6で「いる」と答えた人にお聞きします。その話し相手はどこにお住まいですか。

	回答	%
同じ町内	215	76.8%
地域外の方	61	21.8%
無回答	4	1.4%
合計	280	

※複数回答あり

相談者がおられる方の内、76.8%の人は「同じ町内」に話し相手や相談者がいると答えている。また、21.8%の人は「地域外の方」と答えている。

※複数回答の方：29

※問6が「いる」でないが答えている人：7

問8. 問6で「いる」と答えた人にお聞きします。実際に悩みごと等を相談したことはありますか。

	回答	%
ある	133	51.4%
ない	114	44.0%
無回答	12	4.6%
合計	259	

「ある」が「ない」を僅かに上回った結果となっている。133人の人が地域の人と悩み事の共有ができているということを重視し、その関係性を広げる援助方法の検討が必要と考える。

※問6が「いる」でないが答えている人：15

問9. あなたの健康状態はいかがですか。

	回答数	%
大変健康である	17	4.9%
大きな病気や障害もなく普通に生活している	103	29.6%
何らかの病気はあるが、生活は一人でできる	181	52.0%
その他	28	8.0%
無回答	19	5.5%
合計	348	

健康状態については、何らかの病気がある人が5割を超えており、大変健康と答えた人は4.9%と大変少ない結果となっており、この傾向は、前回と同様である。

次の設問と合わせて捉えておく必要があるものとする。

※複数回答の方：10

※その他の内容

- ・わからないことが多いので介護サービスを利用、体調安定。
- ・一人での生活が日ごとに難しくなっていくようだ。
- ・炊事場に立つのが大変で、食事作りが大変。 ・長女の助けがないと生活できない
- ・介護が必要なので支援をしてもらっている。 ・退院後一旦老人ホームに入所中
- ・ヘルパーなどの協力で暮らしている ・週2回ヘルパーに助けてもらっている
- ・週一回掃除だけ入ってもらっている ・股関節が悪いので室内でも杖が必要
- ・病気はないが足が不自由 ・一人では生活できない ・何とか一人でしている
- ・今は1人でできる ・介護サービス利用 ・グループホーム
- ・判断能力低い ・障がい ・通院中

問 12. 日頃の生活において、ご自身が困ったときにご近所や、お住まいの地域で助けてもらえる方がいますか。

	回答	%
いる	202	59.8%
いない	93	27.5%
無回答	43	12.7%
合計	338	

この設問では高齢者世帯の結果と同じく、「いる」が 202 人(59.8%)であることよりも「いない」が 93 人(27.5%)もおられることを重視する必要がある。また相談相手がいても「助けて」が言えない環境もあるのではないが。

※問 6 で相談相手が「いる」と答えた内、「いる」と答えた人：176 ⇔ 「いない」：26

問 13. 問 12 で「いる」と答えた人で、助けてもらった内容をお聞かせください。

	回答	%
買い物	69	27.9%
洗濯	6	2.4%
ゴミ出し	24	9.7%
料理	23	9.3%
その他	95	38.5%
無回答	30	12.1%
合計	247	

※複数回答あり

「その他」が 107 人(45.1%)で最も多く、下記の通りさまざまな内容の助けを借りているように見える。このあたりは高齢者世帯とは違う生活状況によるものと考えられる。

また、「買い物」について助けてもらっている人が 69 人(27.9%)おられることから、必要性が見える。

※複数回答の方：28

※問 12 が「いる」でないが答えている人：3

※その他の内容

- ・今のところ助けてもらっていないが、常日頃助け合うよう話している。
- ・長男の嫁に買い物をお願いし、通帳も預けています。またお話し相手は近所のお友達のところに行っています。
- ・高い場所の作業（玄関の電球の取り換えなど）
- ・部屋・風呂・便所の掃除（ヘルパーさんに）
- ・入院・手術などで留守の時干しもの
- ・病院について行ってもらっている
- ・からだの調子が悪い時など
- ・留守した時の気配り
- ・長期不在・見守り
- ・慶弔時の付き合い
- ・生活の相談
- ・日常の生活
- ・各種届出
- ・分からないことを教えてもらう
- ・自分で今のところ全部しています
- ・いつも挨拶してのぞきにきてくれる
- ・いろいろ気にかけてもらっている
- ・非常に強い味方がいます
- ・蛍光灯の取り換え等
- ・役場への用事ごと
- ・安否確認の電話
- ・相談にのってもらった
- ・何度も尋ねてくれる
- ・病気になったとき
- ・救急車の依頼
- ・食事の世話
- ・自治会活動
- ・新聞の管理
- ・衣服の着脱
- ・人付き合い
- ・話し相手
- ・外出支援
- ・車の運転
- ・郵便物
- ・声かけ
- ・掃除

問 14. あなたはどれくらいの頻度で外出していますか。

	回答数	%
毎日外出している	99	28.9%
週に数回外出している	144	42.0%
月に数回外出している	36	10.5%
ほとんど外出していない	15	4.4%
分からない	1	0.3%
その他	12	3.5%
無回答	36	10.5%
合計	343	

8割程度の方は月に数回以上外出していると回答している。逆に、15人(4.4%)の方は「ほとんど外出していない」と回答している。

少数ではあるが、外出をほとんどしていない人が確実におられることがわかる。

※複数回答の方：5

※その他の内容

- ・時々泊りで仕事
- ・病院以外に外出なし
- ・週一
- ・歩いて食事の買い物
- ・仕事
- ・仕事をしている
- ・週二日バイトのみ
- ・病院、買い物
- ・体調が良いとき
- ・毎日パートへ

問 15. あなたは地域の活動に参加していますか。

	回答	%
自治会	106	27.2%
地域福祉会	51	13.1%
荒見苑サークル	24	6.2%
ボランティア	13	3.3%
なにも参加していない	142	36.4%
無回答	54	13.8%
合計	390	

※複数回答あり

「なにも参加していない」が最も多く、142人(36.4%)、次いで「自治会」が106人(27.2%)となっている。

3割を超える人が左のような地域での役割を担っていない状況が見られる。

※複数回答の方：39

※その他の内容

- ・通院と家の用事で忙しい
- ・いきいきホール

問 16. 毎日の生活の中で、現在心配していることや困っていることがありますか。

	回答数	%
親族関係	6	1.2%
病気	124	24.1%
収入	45	8.7%
仕事	4	0.8%
近所付き合い	6	1.2%
食事の用意	13	2.5%
掃除	33	6.4%
ゴミ出し	12	2.3%
買い物	21	4.1%
将来のこと	71	13.8%
気軽に付き合える友人がいない	10	1.9%
日々の金銭管理	4	0.8%
話を聞いてもらえる人がいない	7	1.4%
心配事はない	53	10.3%
その他	22	4.3%
無回答	84	16.3%
合計	515	

※複数回答あり

心配ごとや困りごとについては、「病気」が124人(24.1%)で一番多く、また「将来のこと」や「収入」のことなどの回答が比較的多くみられ、これは前回までの調査と同様の結果ととなっている。

ただ、「心配ごとはない」と答えられている人が53人(10.3%)と前回調査より微減しており、今後の動向を見ておく必要があるものと考え

※複数回答の方：103

※問 14 で「毎日～週に数回外出している」と答えた人の内、「買い物」に困っている人：4

※その他の内容

- ・現在の日常生活は自活できていますので、今後も体調を維持して生活していきます
- ・生協の弁当をとっています。別に方法があれば教えてください。
- ・体力的に弱ってきたと感じ動けなくなったらと気にかけている
- ・72歳まで公務員として勤めており地域活動に参加しにくい
- ・認知症が出たときの対応、自分でわかるのか
- ・一人の時、片付けできてない時に倒れたらと心配
- ・高齢ですので、重い病気にならないよう気をつけます
- ・不安はあるが今のところ問題なし
- ・今の所心配事や困っていることはない
- ・樹木の剪定
- ・身体状況、足の筋力等
- ・困っている事の判断難しい
- ・ゴミ出し時間が早い
- ・現在の生活があまり理解できていない
- ・手のしびれ、腰痛
- ・台風時の防災

問 17. 介護保険サービスを利用していますか。

	回答数	%
利用している	77	22.8%
利用していない	223	66.0%
無回答	38	11.2%
合計	338	

「利用している」人は 22.8%のみとなっているが、要介護者が少ないのではなく、要介護状態になった場合にひとり暮らしが継続しにくいことの表れではないかと考える。

問 18. 問 17で「利用している」と答えた人にお聞きします。どのようなサービスを利用していますか。

	回答数	%
デイサービス	34	30.9%
ホームヘルパー	52	47.3%
ショートステイ	5	4.5%
その他	17	15.5%
無回答	2	1.8%
合計	110	

※複数回答あり

実際に利用している介護サービスは、「ヘルパー」が 52 人(47.3%)、次いで「デイサービス」となっており、在宅介護者調査とは逆の結果となっている。ひとり暮らしできている人の回答であることがこの結果となっている要因ではないかと考える。

※複数回答の方：24

※問 17が「利用している」でないが答えている人：4

※その他の内容

- ・訪問介護
- ・福祉用具
- ・訪問看護
- ・自宅改修
- ・グループホーム
- ・レンタルベッド、車いす等
- ・手すり・ベッド
- ・歩行器レンタル
- ・トイレ支えレンタル
- ・小規模多機能

問 19. 将来、一人で生活が続けることが不可能になった場合、どうしたいと思いますか。

	回答数	%
子どもや近親者に頼る	91	21.6%
ホームヘルパーやショートステイなどの在宅福祉サービスを利用する	96	22.7%
老人ホームなどの施設を利用する	77	18.2%
わからない	101	23.9%
その他	19	4.5%
無回答	38	9.0%
合計	422	

※複数回答あり

今回の調査では、「わからない」と答えた人が23.9%と最も多くなっており、次いで「在宅福祉サービス」、「子どもや近親者」となっている。

その時までに関心がある程度考えることができるような機会と情報提供が必要と考える。

※複数回答の方：75

※その他の内容

- ・娘はほっておかないと思うが、本当は老人ホームに入りたい
- ・病院
- ・考えると不安になるので考えないようにしている
- ・その時点で考える
- ・今のところ考えてない
- ・楽生苑ケアハウスの申し込みをしたが、空室なし。
- ・楽生苑に申し込み
- ・子どもたちと相談して従う
- ・死が近いので考えていない
- ・詳細についてまだ子供と話をしていない

問 20. 民生児童委員活動を知っていますか。

	回答	%
知っている	173	51.2%
あまり知らない	96	28.4%
知らない	34	10.1%
無回答	35	10.4%
合計	338	

※複数回答あり

「知っている」が51.2%と半数を超える人が民生委員活動を知っているが、38.5%の人はまだ良く知らない状況があるものとする。

問 21. 民生児童委員に相談するならどのようなことを相談したいですか。

	回答	%
地域の事	33	9.6%
ご自身の事	136	39.4%
家族の事	4	1.2%
その他	40	11.6%
無回答	132	38.3%
合計	345	

※複数回答あり

「ご自身の事」が136人(39.4%)と最も多く、次いで「その他」となっている。また他調査と同様に無回答も多い結果となっている。

※複数回答の方：7

※その他の内容

- ・わからない
- ・今のところ別に無し、今後はあると思います。
- ・施設や福祉のこと
- ・活動内容が分からないので特にない
- ・収入がないのに固定資産税を払う事
- ・すべて自分で解決している
- ・具体的には今はありません

問 21. 何か必要なことがある場合、あなたの自宅へ社会福祉協議会職員や民生児童委員が訪問することを希望しますか。

	回答	%
訪問を希望する	51	15.1%
必要時のみ訪問を希望する	211	62.4%
訪問を希望しない	30	8.9%
その他	1	0.3%
無回答	45	13.3%
合計	338	

※複数回答あり

「必要時のみ訪問を希望する」が211人(62.4%)と最も多くなっている。「訪問を希望しない」と答えた人で訪問の必要性があった場合の対応方法を検討する必要がある。

問 22. 社会福祉協議会では、地域福祉を充実させるためにさまざまな活動や取り組みを行っていますが、要望や希望等があれば何でもお書きください。

- ・虐待等で保護されている子供を笑わせたりお話をしてあげたいです。保護しているところを紹介していただけますか。
- ・健康で何も一人でできるがいざという時には心配になる。ヘルパーに来てもらった方が良いのか心配。
- ・献体
- ・話し相手がほしい（自宅にいる時は一人でテレビは話し相手にならない）
- ・民生委員の選出はどのように、また何を主として選出されているのか？
★個人情報もれている場合がある ★立場や役割がおかしい場合がある。
担当の民生委員さんのことを言っているのではなくて、安心して相談できるように体制を見直してほしい。
- ・サントウン佐山には集会所がありません。近くで一人暮らしの人たちが集い、おしゃべりできる所があればいいなあと思っています。
- ・さまざまな福祉の取組を知りたい。
- ・分からない 傾聴
- ・長男は週一回ほど様子を見に行くしかない現状、見守り隊があると聞き、そつと見守ってほしい。
- ・私は地域の方と仲良くしているので、友人が多い。みなさん良くしてくださいます。感謝しています。
- ・高齢者交流会、きらく会でお世話になって感謝しています
- ・今は生活できているが、いずれはよろしく願いします。
- ・福祉会のことがよくわからないので、特に希望はありません
- ・今のところ満足している。
- ・都度電話をかけて下さり取り組んでくださっている事大変うれしく思っています。
- ・ボランティア活動の交通費をあげてほしい。
- ・団地の空き家が老人のシェアハウスのようなところになってもらう。
- ・気軽に顔合わせできる場を作っただけならありがたい。
- ・介護制度や認知症についての講演があればよい。
- ・現状ではできるだけ自分で生活して、人の世話にならないで暮らしたい。